

近未来の社会構造の変化を見据えた力強い北海道食産業の構築

農業研究本部、水産研究本部、森林研究本部、産業技術研究本部

背景

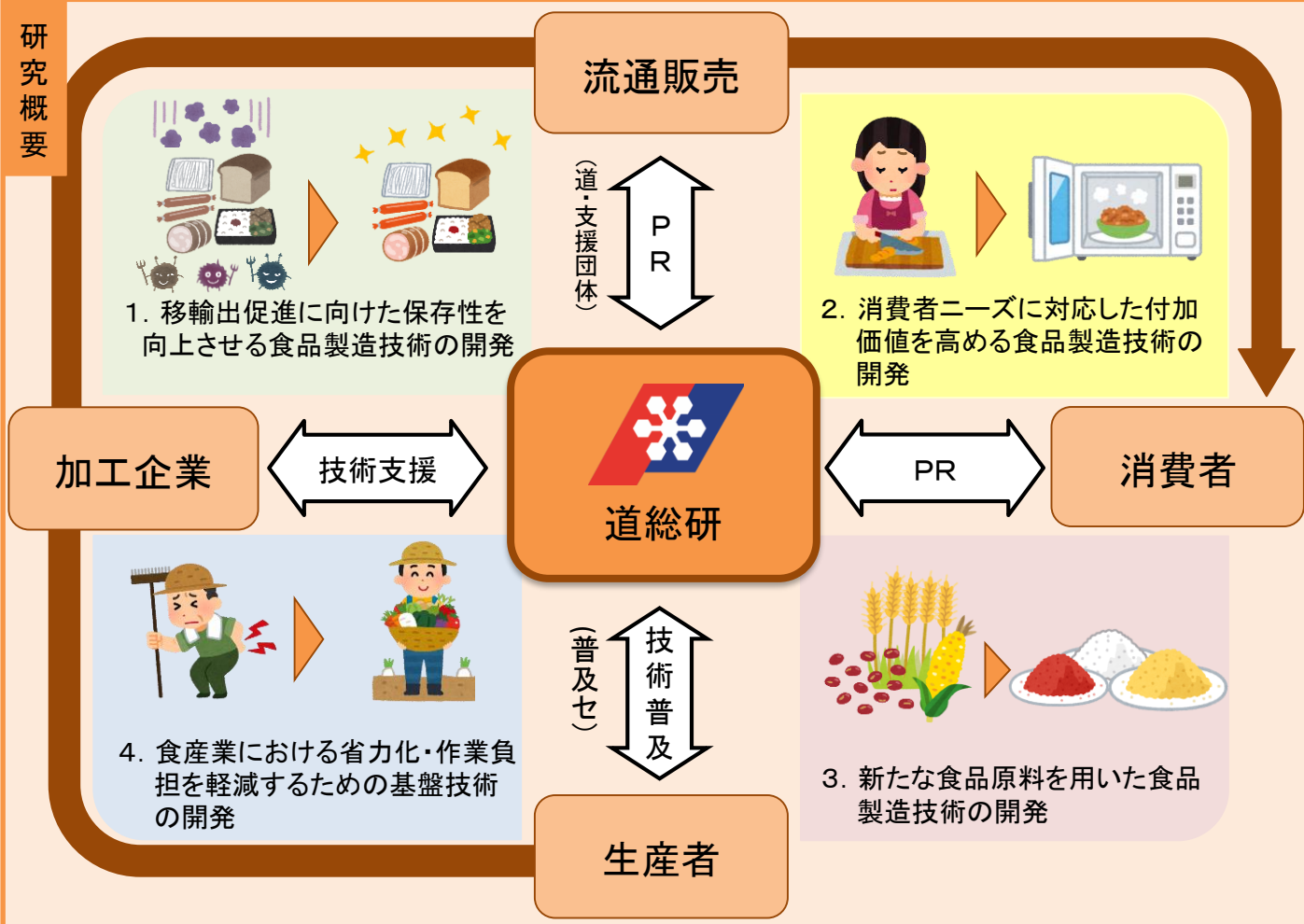
北海道では急激な人口減少が進行すると予想され、市場縮小に伴う食関連産業の衰退が懸念される。

- 本道食産業を維持するために、首都圏や海外など大消費地への更なる食品の移輸出が必要
- 消費者のライフスタイルの変容に伴うニーズ変化へ対応した、高付加価値食品の製造技術開発が必要
- 食品原料の供給が変化しており、新たな食品原料を用いた食品製造技術開発が必要
- 本道は原料および食品の製造規模が大きく、生産現場における省力化・作業負担軽減が課題

目的

道産食品の移輸出拡大、高付加価値化や人口減少などに伴う生産力低下に対応した食品製造技術を開発することで本道の食関連産業の基盤を強化する。

研究概要



成果の活用策

移輸出拡大

高付加価値商品

新原料を用いた商品

生産力向上

食関連産業の基盤強化

力強い食産業の構築